

Small MUSEUM 2009

2010.1.6— 1.18

Small MUSEUM 2009

2010.1.6[火]—18[月]（11日のみ月曜休廊）
12:00—19:00（最終日は17:00まで）

京都学園大学アートギャラリー実習では、一年を通し、アートギャラリーの基礎を学び、展覧会を企画、運営、アートに関する幅広い知識と展示の技能を修得し、文化交流、社会との触れ合いを目的としています。このたび、京都学園大学受講生たちの写真作品と社会で活躍するアーティストを迎え、その作品の展示、交流から学びとる重要な機会としています。「スモールミュージアム」（小さな美術館）と題したこの展覧会は、区切られた3つの空間を活用し、京都学園大学受講生たちの写真作品の展示（洋室スペース）、現代美術作家の陳維錚（和室スペース）、メディアアーティストのアンドレアス・クレシグ（ガーデンスペース）両氏を個展形式にて、3つのカテゴリーより紹介いたします。

京都学園大学アートギャラリー実習担当教員　アマノ雅広、岡崎宏樹

洋室スペース　京都学園大学 アートギャラリー実習受講生（2009年度）

和室スペース　陳維錚　JuiChen TAN

マレーシア生まれ中国系人。現代美術作家、マルチアーティスト。1996年に来日し、東北芸術工科大学(山形)在学中に3DCGアニメーション作品が東北デジタルコンテンツグランプリ優秀賞受賞。その後、実験映画、インスタレーションや参加型パフォーマンスなどへと表現手法が多様化した。京都精華大学大学院に進学後、数多くの個展やグループ展を通じて、活発に国内外で作品発表。展覧会の企画主催や国際映画祭のプログラムのキュレーション活動も多数。メディアアートのスキルを生かしたインタラクティブ(参加型)な装置とアナログな手法を融合した演出が特徴。一貫して「存在のリアリティ」を探求するコンセプトにより、実在の不確かさを気づかせる視覚体験が仕掛けられている。代表作は水と油をライブ投影する「流体都市」、紙銭を積み上げた「紙と光」、密室にフラッシュライトを仕掛けた「境界」などがある。 http://tanjc.net

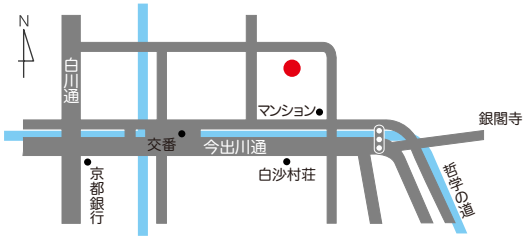
庭スペース　アンドレアス・クレシグ　Andreas Kressig

メディアアーティスト。1971年パリ生まれ、ジュネーブ（スイス）在住。1993年よりThe Art Institute of Chicago（シカゴ）、1997年よりL'Ecole Supérieure d' Art Visuel de Genéveでアートを学ぶ。2006年京都市立芸術大学美術学部構想設計専攻（メディアアート）を卒業。コンピュータグラフィックスの映像、ビニール、電気部品など既製品を使用した光をテーマにした作品やリサイクル可能な素材を使った手法など、インスタレーションの手段で視覚化する作品を発表。作品で使用される様々な素材は、媒介物として機能し、その場で成立する関係や効果を作り出し、独自の世界を見出している。その作品発表は、ジュネーブ、京都、カイロ、アルメニア、デュッセルドルフ他個展、グループ展を国内外多数。



JuiChen TAN, Rupa is identical with Sunya, 2007, installation

ギャラリー揺
gallery yuragi
〒606-8407京都市左京区銀閣寺前町23
Tel 075-752-0242　E-mail:info@yuragi.biz
http://www.yuragi.biz



http://www.project-noa.com/smallmuseum2009

supported by Neuron of Artists project NoA